

4. 総合科学技術会議の司令塔機能強化（1／3）

○「イノベーションに最も適した国」を創り上げていくための司令塔として、権限、予算両面でこれまでにない強力な推進力を発揮できるよう、新たな予算措置や法律改正等を行い、総合科学技術会議の司令塔機能を抜本的に強化する。

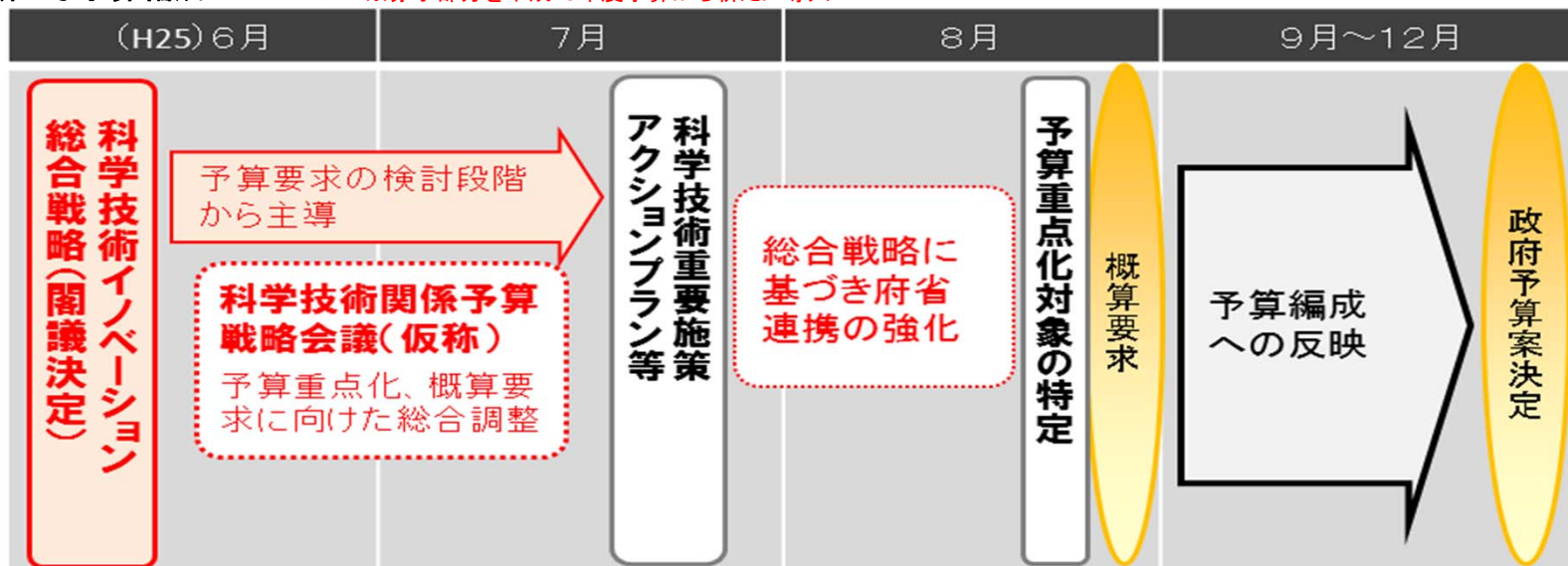
※総合科学技術会議の司令塔機能強化に加えて、官邸のリーダーシップを発揮するための科学技術顧問（仮称）については、今後の検討課題である。

（1）科学技術関係予算編成の主導

「科学技術関係予算戦略会議（仮称）」の設置

- ・ 平成26年度概算要求段階から、総合科学技術会議が、科学技術関係予算の重点化や総合調整を実施し、予算戦略を主導する新たなメカニズムを導入
- ・ 各省予算を重点化する仕組み(科学技術重要施策アクションプラン等)については、これまで進めてきた取組をさらに進化させ、予算編成プロセスを改善

<新たな予算編成プロセス> ※赤字部分を平成26年度予算から新たに導入




4. 総合科学技術会議の司令塔機能強化（2／3）

「戦略的イノベーション創造プログラム（仮称）」の創設

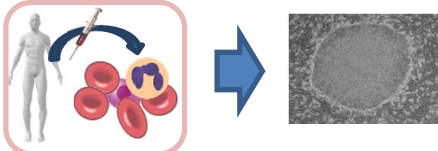
- ・ 日本経済の再生（持続的経済成長、市場・雇用の創出等）を果たしていくため、鍵となる技術の開発等の重要課題の解決のための取組に対して、府省の枠にとらわれず、総合科学技術会議が自ら重点的に予算を配分
- ・ 産業界、学术界、各省庁と連携して、イノベーション創出のために重要な課題を特定し、基礎研究から出口（実用化・事業化）までを見据えた研究開発等を推進するため、所要の予算を内閣府に計上

「革新的研究開発支援プログラム（仮称）」の創設

- ・ 最先端研究開発支援プログラム（FIRST）は、集中投資、研究費の基金化、などの特長の下で世界トップ水準の高い研究成果を創出




山中伸弥



京大病院・iPS細胞
外来（ドナーリクルート）

再生医療用
iPS細胞ストック



2012年ノーベル医学・生理学賞受賞

iPS細胞技術の開発と標準化、
iPS細胞のストックの構築開始

山中プロジェクト



山海嘉之



HALの下肢への適用例

ロボットスーツHALによる次世代ニューロリハビリテーションの臨床応用

山海プロジェクト

- ・ 後継施策については、米国DARPAの仕組みを参考に、長期的視点からインパクトの大きな革新的研究テーマを選定し、権限を有するプログラムマネージャーの責任の下で、独創研究を大胆に推進
- ・ 8月末までに具体策を固め、概算要求等に反映

4. 総合科学技術会議の司令塔機能強化（3／3）

（2）事務局体制の強化

①事務局の人員体制の強化

- ・ 経済成長、産業競争力、イノベーション等の専門的知見を有する優秀な人材を登用などによる事務局の人員体制の強化
- ・ 関係府省、産業界、大学等からの出向者の任期の長期化等による人材の安定的な確保

②調査分析機能（シンクタンク）の強化

- ・ シンクタンク機関（日本学術会議、科学技術振興機構研究開発戦略センター等）との連携強化

（3）総合科学技術会議の活性化

①総合科学技術会議の活性化

- ・ 総理のリーダーシップによる会議の活性化
- ・ 総合科学技術会議の運営に当たって、産業界の活力を積極的に活用

②定期的な政策対話等の実行

- ・ 関係省庁幹部、主要な研究資金配分機関・研究実施機関の長、大学の学長、産業界のリーダー・技術者等との定期的な政策対話等の実行

③総合科学技術会議の「総合性」の発揮

- ・ 科学技術イノベーションに関連する本部組織（IT総合戦略本部、知的財産戦略本部、総合海洋政策本部、宇宙開発戦略本部、健康・医療戦略室等）と、定期的な情報交換の場を設けるなどにより連携強化に取り組むとともに、司令塔機能の総合性の更なる発揮について検討